

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人山岸龍上告趣意について。

所論第一点は結局量刑不当の主張であり、第二点は原審の裁量に属する再鑑定却下を非難するに過ぎないし、また所論鑑定書には所論の言うような不明確な点はない。それ故、論旨を採ることはできぬ。

よつて旧刑訴四四六条に従い主文のとおり判決する。

この判決は裁判官全員の一致した意見である。

検察官 茂見義勝関与

昭和二六年二月二二日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	眞	野	毅
裁判官	澤	田	竹 治 郎
裁判官	齋	藤	悠 輔
裁判官	岩	松	三 郎